

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年6月21日(2022.6.21)

【公開番号】特開2020-192257(P2020-192257A)

【公開日】令和2年12月3日(2020.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2020-049

【出願番号】特願2019-101449(P2019-101449)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 620

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月13日(2022.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、当該導出操作手段に対応する可変表示部に表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

を備え、

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記特定決定結果の種類に対応する順序で前記導出操作手段が操作された場合には、特定数の遊技用価値が付与される特定表示結果組合せを導出する制御を行い、前記特定決定結果の種類に対応する順序とは異なる順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記特定数の遊技用価値が付与されない表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記特定決定結果は、対応する順序がいずれも特定順序となる第1特定決定結果と第2特定決定結果とを含み、

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記第1特定決定結果となったときに、前記特定順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたタイミングに関わらず、前記特定表示結果組合せのうち第1特定表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定決定結果となったときに、前記特定順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたタイミングに関わらず、前記特定表示結果組合せのうち前記第1特定表示結果組合せとは異なる第2特定表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記特定表示結果組合せは、前記複数の可変表示部を跨がる複数のラインのうちいずれかのラインに前記特定表示結果組合せが導出されたことを示唆する特定示唆識別情報の組合せが導出される表示結果組合せであり、

30

40

50

前記第1特定表示結果組合せと前記第2特定表示結果組合せとは、前記特定示唆識別情報の組合せが異なり、

前記第1特定表示結果組合せ及び前記第2特定表示結果組合せは、いずれも共通のラインに前記特定示唆識別情報の組合せが導出され、

前記スロットマシンは、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記特定決定結果の種類に対応する順序を特定可能に報知する操作順序報知手段と、

演出の制御を行う演出制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記演出制御手段に対して特定制御情報を送信する特定制御情報送信手段と、

をさらに備え、

前記特定制御情報送信手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特定決定結果となり、前記特定順序が特定可能に報知される場合にも、前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定決定結果となり、前記特定順序が特定可能に報知される場合にも、共通の特定制御情報を送信する、スロットマシン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

この種のスロットマシンとしては、特許文献1に記載のものが提案されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2019-37359号公報

30

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、可変表示部に導出される表示態様を多様化することが可能なスロットマシンを提供することを目的とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

請求項 1 のスロットマシンは、

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を複数備え、前記可変表示部の変動表示を停止することで表示結果を導出し、複数の可変表示部の表示結果の組合せである表示結果組合せに応じて入賞が発生可能なスロットマシンにおいて、表示結果が導出される前に、導出が許容される表示結果組合せを決定する事前決定手段と、

遊技者が表示結果を導出させるために操作する導出操作手段と、

前記導出操作手段が操作されたときに、当該導出操作手段に対応する可変表示部に表示結果を導出する制御を行う導出制御手段と、

を備え、

10

前記導出制御手段は、前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記特定決定結果の種類に対応する順序で前記導出操作手段が操作された場合には、特定数の遊技用価値が付与される特定表示結果組合せを導出する制御を行い、前記特定決定結果の種類に対応する順序とは異なる順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記特定数の遊技用価値が付与されない表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記特定決定結果は、対応する順序がいずれも特定順序となる第1特定決定結果と第2特定決定結果とを含み、

20

前記導出制御手段は、

前記事前決定手段の決定結果が前記第1特定決定結果となったときに、前記特定順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたタイミングに関わらず、前記特定表示結果組合せのうち第1特定表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定決定結果となったときに、前記特定順序で前記導出操作手段が操作された場合には、前記導出操作手段が操作されたタイミングに関わらず、前記特定表示結果組合せのうち前記第1特定表示結果組合せとは異なる第2特定表示結果組合せを導出する制御を行い、

前記特定表示結果組合せは、前記複数の可変表示部を跨がる複数のラインのうちいずれかのラインに前記特定表示結果組合せが導出されたことを示唆する特定示唆識別情報の組合せが導出される表示結果組合せであり、

前記第1特定表示結果組合せと前記第2特定表示結果組合せとは、前記特定示唆識別情報の組合せが異なり、

30

前記第1特定表示結果組合せ及び前記第2特定表示結果組合せは、いずれも共通のラインに前記特定示唆識別情報の組合せが導出され、

前記スロットマシンは、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記特定決定結果の種類に対応する順序を特定可能に報知する操作順序報知手段と、

演出の制御を行う演出制御手段と、

前記事前決定手段の決定結果が複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、前記演出制御手段に対して特定制御情報を送信する特定制御情報送信手段と、

40

をさらに備え、

前記特定制御情報送信手段は、前記事前決定手段の決定結果が前記第1特定決定結果となり、前記特定順序が特定可能に報知される場合にも、前記事前決定手段の決定結果が前記第2特定決定結果となり、前記特定順序が特定可能に報知される場合にも、共通の特定制御情報を送信する

ことを特徴としている。

この特徴によれば、複数種類の特定決定結果のうちいずれかの種類の特定決定結果となったときに、特定決定結果の種類に対応する順序で導出操作手段が操作された場合には、特定数の遊技用価値が付与される特定表示結果組合せが導出されるものにおいて、対応する

50

順序がいずれも特定順序となる第1特定決定結果と第2特定決定結果とを含み、第1特定決定結果となつた場合にも、第2特定決定結果となつた場合にも、特定順場で導出操作手段が操作された場合には、特定数の遊技用価値が付与される特定表示結果組合せが導出される一方、第1特定決定結果であるか、第2特定決定結果であるか、によって導出操作手段の操作タイミングに関わらず、異なる特定表示結果組合せが導出されるので、遊技者の操作タイミングに関わらず、多様な特定表示結果組合せを導出させることができる。

また、第1特定表示結果組合せが導出された場合にも、第2特定表示結果組合せが導出された場合にも、共通のラインに特定示唆識別情報の組合せが導出されるので、特定表示結果組合せが導出されたことが分かりやすい。

また、第1特定決定結果となり、特定順序が報知される場合でも、第2特定決定結果となり、特定順序が報知される場合でも、共通の演出制御が行われるので、演出制御手段の負荷を軽減できる。

10

20

30

40

50